

## 桜花会主催 東芝府中事業所見学会(2016年11月30日)

応化コース3年生の学生さんを対象に、大友 明教授(桜花会常任幹事)の企画・実行で、2016年11月30日(水)JR武蔵野線北府中駅前に広がる東芝府中事業所見学会が開催されました。

好天の当日12:30大岡山駅前に10名の学部3年生が集合し、引率の大友教授・桜花会の田村会長と岩倉副会長が同行、総勢13名で目黒線に乗車、武蔵小杉でJR南武線に乗り換えて府中本町、そこで武蔵野線で一駅行った北府中に13:33到着。東芝口を出て1分も歩くと事業所入口に到着しました。

入口前でTOSHIBAの看板を挟んで記念撮影をして見学(14:00-17:00)に入りました。多くの社員にお世話になりました。特に大友先生と同期で無機材料を卒業され1997年に入社された米津麻紀様(研究開発センター機能材料ラボラトリー)、大友先生と同じ物質科学専攻で学位を取得され2007年に入社された堀内陽介様(研究開発センター機能材料ラボラトリー研究主務)が先輩として同行してくれました。お二人の先輩と共に人事・総務部人財採用センターの林智也様が最後の質問コーナーまで担当してくださいました。

東京ドームが14個も入る広大な敷地(65.5万㎡)で、府中事業所は東芝のエネルギーシステムソリューション社、インフラシステムソリューション社部門の多くが府中事業所で活動しています。見学先はパワーエレクトロニクスの制御システム製造部門、産業用コンピューター製造部門、各電力会社向けに、電力発・送電制御システム(コントロールパネルが55インチのレグサ液晶22枚からなる大型設備)製造部門、電気機関車とハイブリットのディーゼル機関車(HD300形式)を製造している部門そして原子力発電シミュレーター(現場のものと同等で、様々な異常対応を研修できるシミュレーター)を用いて、原子炉の水位が下がった場合などの動作状況を見学しました。ひと際高い東芝エレベーター社のエレベーター棟もあり、スカイツリーのエレベーターも東芝製です。大容量タイプとして国内最高速です。

その後会議室に戻り、学生さんからの質問に米津様、堀内様、林様が丁寧に回答して下さいました。新生東芝を目指して、今年からインターン制度も受け付けますとのこと。林様からは、「先輩を訪ねて色々お話を聞いたり見学をしてフィーリング(感覚)の会う会社に入られるのが良いですね」とのお話がありました。参加した学生は、林様の「理系の人脈(特に東工大卒は全国の代表的なメーカーに必ずいる)は文系から見ると稀有でうらやましい」というお話にも驚いていました。また、米津様からは、企業に入社してからも勉強を続けることは必ず必要になるため、学生時代から知識だけでなく自分のやりたいことを実現する勉強法を学んでもらいたいというお話がありました。

以下同社府中事業所パンフレットの抜粋と見学会時の記念写真です。

### 主要製品

#### 社会と産業の 基盤を総合的に支える、 電力ソリューション。

発電、受電、送・配電から蓄電まで、電力供給の最適化をトータルサポート。世界中に電力ソリューションを提供してきた東芝の技術と総合力で、安定した電力供給に貢献しています。

#### スムーズな移動と 輸送を可能にする、 交通ソリューション。

目的地までの移動・輸送を、より安心・安全・快適に。新幹線や鉄道車両の運行や管理、道路・空港設備の監視制御、さらに世界最高速エレベーターの開発など幅広い分野で交通ソリューションを提供しています。

#### より早く 正確な情報を提供する、 放送・通信ソリューション。

情報コンテンツの制作から送るまで、デジタル時代の情報社会を総合的にサポート。これからの放送と通信の融合を視野に入れ、高品質・低環境負荷の放送・通信ソリューションの提供に取り組んでいます。

#### かぎりある水を いつまでも美しく保つ、 水・環境ソリューション。

水資源の安定確保と、豊かな水環境創出や環境負荷低減のため、水の運用管理や監視制御から廃棄物処理といった高度な水・環境ソリューションを提供。豊かさと自然環境の共存を目指しています。

府中事業所 全景



左下が北府中駅。遠くに富士山。ひと際高いのがエレベーター棟。ラグビー部 Brave Lupus の本拠地。  
上記府中事業所全景につきましては〈転載・複写不可〉



左端から大友先生、田村会長、3年生の学生さん 10名、右端に岩倉副会長

以上